

平成 17 年度シグマ委員会議事録

日 時：2006 年 3 月 1 日（水）14:00~17:00

場 所：原子力機構 システム計算科学センター 第 1 大会議室

出席者：長谷川 明（原子力機構、委員長）、青山 肇男（日立）、井頭 政之（東工大）、竹田 敏一（阪大）、田原 義壽（EDC）、中島 健（京大炉）、山野 直樹（東工大）、水本 元治（原子力機構）、大島 真澄（原子力機構）、西谷 健夫（原子力機構）、片倉 純一（原子力機構）、森 貴正（原子力機構）、石川 眞（原子力機構）、柴田 恵一（原子力機構）

幹 事：中川 庸雄（原子力機構）

配付資料

1. 日本原子力研究開発機構シグマ委員会について
2. シグマ委員会の構成（2005 年度下期）
3. 核データ専門部会のミッションについて
4. 炉定数専門部会のミッションについて
5. 2005 年度核データ研究会の開催結果について

委員長挨拶

シグマ委員会の長谷川委員長より、開会の挨拶があった。

委員自己紹介

出席した委員の自己紹介があった。

議事

1. シグマ委員会の設置について

片倉委員より配付資料 1 に基づき委員会の設置目的及び日本原子力学会シグマ特別専門委員会との関係について説明があった。特別専門委員会との関係については、役割分担を明確にすべき等の意見があったが、今後、更に検討することとなった。

2. 委員会の構成

柴田委員より配付資料 2 に基づきシグマ委員会の構成について説明があった。核データ専門部会及び炉定数専門部会の 2 部会を設置する。

核データ専門部会のワーキンググループ（WG）構成に関して、配付資料 3 に基づきそれぞれのグループの役割を柴田委員が報告した。高エネルギー核データ評価 WG、FP 核データ評価 WG、品質保証検討グループ、ENSDF グループ、核データニュース

編集委員会を設置する。

炉定数専門部会の WG 構成に関して、配付資料 4 に基づきそれぞれのグループの役割を山野委員が報告した。リアクター積分テスト WG、Shielding 積分テスト WG、炉物理実験データ保存 WG、崩壊熱評価 WG、核種生成量評価 WG を設置する。

原子力機構核データ評価研究グループの研究活動が外部に見えるように配慮すべきとの意見があった。

3. 核データ研究会について

片倉委員より配付資料 5 に基づき 2006 年 2 月 2~3 日に開催された核データ研究会の報告があった。来年度からは原子力機構の予算により核データ研究会を開催することは困難であり、そのため、チュートリアルを含め日本原子力学会核データ部会主催、原子力機構共催での開催を検討することとなった。

4. その他

旧シグマ研究委員会からの引き継ぎ事項である「問題解決タスクフォース」の具体的な提案があれば、事務局まで連絡していただきたい。